

我が家は大丈夫と思わないで！！

～ もう一度 見直しましょう ～

●たこ足配線をしていませんか？

たこ足配線が危険な理由を知りましょう！

電化製品は、生活にはなくてはならない存在です。多くの電化製品を使うということは、その分コンセントも必要になります。そんなときに、いわゆる「たこ足配線」、コンセントなどからコードがたこの足のように伸びている状態になっていませんか？コンセントには利用できる消費電力がそれぞれ決まっています。それを超えてしまうと、定格容量を超える状態となり、流れる電流が大きすぎるためにコンセントが発熱して火災などのトラブルが起きる恐れがあります。



●コンセントプラグの周辺にホコリがたまっていませんか？

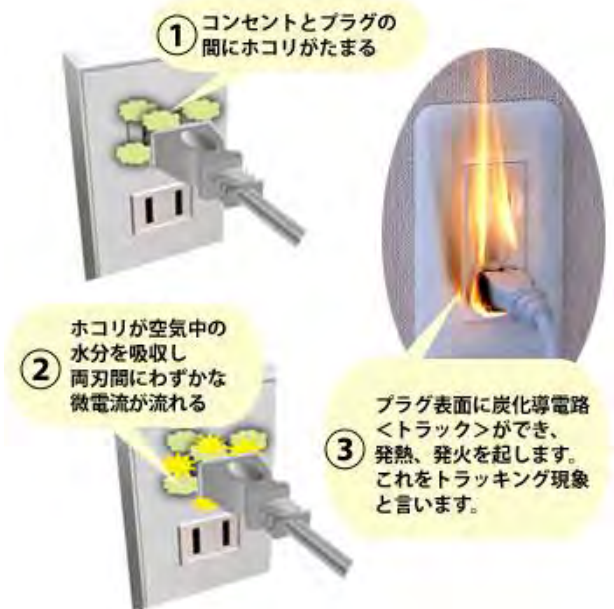
トラッキング現象にも注意が必要です！

トラッキング現象とは、コンセントとプラグの隙間にホコリがたまり、そのホコリが空気中の湿気を吸収することで、漏電し発火する現象のことです。

電源プラグを長年コンセントに差したままにすると、ホコリがたまって、トラッキング現象を引き起こす危険性があります。日常的に掃除するなどしましょう。

トラッキング現象が起きやすい場所

- ・ 冷蔵庫、テレビ、洗濯機などの裏側のホコリがたまりやすい場所
- ・ 台所や洗面所、脱衣所などの湿気が多い場所
- ・ 加湿器や水槽など水気がある場所



コンセントやテーブルタップは使用量が決められています！

家庭のコンセントひとつから供給できる電力は 1500W で、タップなどに繋いだ電子機器の定格電流が 1500w を超えた場合に負荷が過剰にかかり発火しやすくなります。タップなどの本体には「合計〇〇W まで」と記されています。取り扱いには十分注意をしましょう。



合計1500Wまで

ご家庭でのストーブ火災に注意！

～冬の寒い時期～ ストーブによる火災が急増 ↑

使用者の注意不足による火災が多く発生し、死者も発生しています。

◆全国の死者の発生した住宅火災における火元原因別死者の発生状況

第3位<ストーブ> 火災件数111件 死者124人(第1位 放火、第2位 たばこ)

【総務省消防庁:平成30年(1月から12月)における火災の状況】より

つぎのような対策をして火災を予防しましょう。

●ストーブの周りは、常に整理整頓する

布団、衣類、雑誌などの可燃物が電気ストーブの近くに置いてあると、ふとしたはずみで可燃物がストーブに接触し出火する恐れがあります。また、ストーブの上部などで洗濯物を干さないでください。落下、接触して出火する恐れがあります。



●寝るときは必ずストーブの電源を切る(電気ストーブの場合) 火を消火する(石油ストーブの場合)

ストーブをつけたまま寝ると、寝返りをうった際に布団がストーブに接触し、出火する恐れがあります。



●ストーブの近くでスプレーなどを使わない

塗料、殺虫剤などのスプレー缶や引火性の溶剤を使った接着剤などは、引火や爆発の危険があるので、ストーブの近くで使用してはいけません。

●カートリッジタンクの口金はきちんとしめる

石油ストーブのカートリッジタンクに灯油を補給した後、口金を完全に締め付けないまま石油ストーブにセットしようとしたため、口金が外れ、漏れた灯油がストーブにかかり出火するケースが多く発生しています。



◆誤給油に注意！



ガソリンや軽油を灯油と間違えてストーブに給油し、火災になる事例がおきています。

<誤給油を防ぐには…>

- 1 油の種類を容器に明確に表示する。
- 2 ガソリンは必ず専用の金属容器で保管する。
- 3 家族で灯油と他の油の置き場所を徹底する。

◎上記のような対策をして誤給油を防止しましょう。



スプレー缶・カセットボンベ火災に注意！

～スプレー缶・カセットボンベの火災危険について～

平成30年12月16日に北海道札幌市で発生した爆発火災では、50名以上の方々が負傷するなど大きな被害が発生しました。これは、大量のエアゾール製品の内容物が噴射され、これに引火したことが原因とみられています。このほか、全国各地でも頻繁に被害が発生している状況です。

～スプレー缶・カセットボンベの火災危険について～

殺虫剤、ヘアスプレー、虫除けスプレーや消臭スプレーなど、いわゆる「スプレー缶(エアゾール缶)」には可燃性ガスが含まれています。

様々な場面で使用するスプレー缶は、正しく使用しないと大きな火災や事故等になってしまう恐れがあります。

また、カセットこんろで使用するボンベ(カセットボンベ)も使用方法を間違えると破裂、火災の危険があります。



●使用する際の注意点

- ・ストーブ、こんろなど、**火気器具等の近くで使用しない。**
- ・**一度に大量に使用しない。**

このほか、スプレー缶等に記載されている使用上の注意等をよく確認の上、安全に使用してください。

中身の残ったスプレー缶、カセットボンベがごみに出され、ごみ収集車両やごみ処理施設での火災も多発しています！

●安全に適切に廃棄しましょう(廃棄する際の注意点)



- ・中身(ガス)を**完全に使い切って捨てる。**
- ・ガス抜きは、**屋内では絶対に行わない。**
- ・**一度に大量のガス抜き(放出)は行わない。**

※屋外の火の気のない安全な場所で行う。